

## 目標 I 住環境

指標(1) 住んでいる地域の暮らしに対し満足している市民の割合（上位計画との整合指標）

基準値	目標値
87.0%	90.0%

## 目標 I 住環境

指標(2) 北原山地区画整理事業の進捗率

基準値	目標値
86.0%	100%

## 【概要】

- 本指標は、総合計画の基本方針「暮らしやすさに楽しさを加えます」の成果指標に位置付けられています。
- 第3次都市計画マスターplanの「目標 I 住環境」では、居住ニーズに応じた多様な暮らし方ができる住環境をめざしています。
- このため、本計画においても「住んでいる地域の暮らしに対し満足している市民の割合」を指標として採用します。

## 【目標値の考え方】

- 市民の 23.1%が地域の暮らしに「満足している」と答えており、「まあまあ満足している」を加えると 87.0%となります。
- 総合計画では、すでに高い現状値となっていますが、引き続き様々な取組を進めることで、現在の水準を維持していくことをめざし、目標値を基準値より 3 ポイント高い 90.0%に設定しました。

## 住んでいる地域の暮らしに対し満足している市民の割合

満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	合計
376	1040	164	32	15	1,627
23.1%	63.9%	10.1%	2.0%	0.9%	100.0%

87.0%

※ 基準値は、令和5年度まちづくりアンケートの結果です。

※ 目標値は、総合計画の計画期間末の直近に実施されるまちづくりアンケート結果により評価します。

## 【概要】

- 第3次都市計画マスターplanの「目標 I 住環境」では、良質な住宅地の確保をめざしています。
- 北原山地区画整理事業は、当該目標の達成に向けて実施される本市の代表的な取組であることから、「事業の進捗率」を指標として採用します。

## 【目標値の考え方】

- 北原山地区画整理事業は、令和6年度末の事業進捗率が 86.0%となっています。
- 本計画期間末には事業が完了していることをめざすため、目標値を 100%に設定します。

北原山地区画整理事業の進捗率 (%)							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業進捗率	60.2	65.1	68.9	73.7	78.4	82.9	86.0

※ 基準値は、令和6年度末時点の実績値です。

※ 目標値は、第3次本都市計画マスターplanの計画期間末の直近における実績値により評価します。

## 目標Ⅱ 緑・水辺・環境

(1) 緑に親しめる場所・空間に満足している人の割合(関連計画との整合指標)

基準値	目標値
59.1%	66.0%

## 目標Ⅱ 緑・水辺・環境

(2) 都市計画区域内の緑被率(関連計画との整合指標)

基準値	目標値
33.2%	33.2%

### 【概要】

- 第3次都市計画マスターplanの「目標Ⅱ 緑・水辺・環境」では、身近な緑や水辺に親しみ、やすらぎを感じられる都市環境を次の世代へと引き継ぐことをめざしていることから、「緑に親しめる場所・空間に満足している人の割合」を指標として採用します。
- 本指標は、次期緑の基本計画においても、数値目標に位置付けることを検討しています。

### 【目標値の考え方】

- 市民の18.4%が「満足」と回答し、「どちらかといえば満足」を加えると59.1%となります。
- 緑に親しめる場所・空間の創出や質の向上につながる取組を進めることで、市民の満足度の向上をめざし、目標値を基準値より約7ポイント高い66.0%に設定します。

緑に親しめる場所・空間に満足している市民の割合						
満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	無回答	合計
299	662	577	64	16	9	1,627
18.4%	40.7%	35.5%	3.9%	1.0%	0.6%	100.0%

59.1%

※ 基準値は、令和5年度まちづくりアンケートの結果です。

※ 目標値は、第3次都市計画マスターplanの計画期間末の直近に実施されるまちづくりアンケート結果により評価します。

### 【概要】

- 第3次都市計画マスターplanの「目標Ⅱ 緑・水辺・環境」では、本市の魅力である緑や水辺を大切に守り育み、未来に引き継ぐことをめざしています。
- 市内の緑の状況を定量的に把握するため「都市計画区域内の緑被率」を指標として採用します。
- 本指標は、次期緑の基本計画においても、数値目標に位置付けることを検討しています。

### 【目標値の考え方】

- 本市の緑比率は、平成28年度には34.1%、令和3年度には33.6%と年々減少傾向にあり、今後も同様に推移する場合は、令和17年度には32.2%まで減少することが予想されます。
- 今後も市全域で無秩序な開発を防止し、まちなかの緑の保全や増加に努めることで緑の減少に抗い、現在の水準を維持していくことをめざし、目標値を基準値と同値の33.2%に設定しました。

都市計画区域内の緑被率の推移 (%)				
	H28	R3	R7 (推計)	R17 (推計)
市街化区域	4.6	4.2	-	-
市街化調整区域	71.8	71.1	-	-
計	34.1	33.6	33.2	32.2

※ 基準値は、令和7年度時点の推計値です。

※ 目標値は、第3次都市計画マスターplanの計画期間末の直近における実績値により評価します。

### 目標Ⅲ 移動

#### (1) 市内を運行する鉄道・バスの利用者数 (上位計画との整合指標)

基準値	目標値
12,290 千人	13,619 千人

### 目標Ⅲ 移動

#### (2) 幹線道路の年間補修延長 (上位計画との整合指標)

基準値	目標値
400m	600m

#### 【概要】

- 本指標は、総合計画の施策「快適な交通基盤の整備」の成果指標に位置付けられています。
- 第3次都市計画マスターplanの「目標Ⅲ 移動」では、歩いて出かけたくなる人を中心の移動環境の創出をめざしており、多様な交通事業者との連携により、公共交通の利便性を高めていく必要があります。
- このため、本計画においても「市内を運航する鉄道・バスの利用者数」を指標として採用します。

#### 【目標値の考え方】

- 公共交通の利用者は、令和元年度には約 13,619 千人であり、コロナ禍による利用者の減少を経て、回復傾向にあります。
- 総合計画では、人口減少下にあっても、公共交通の利用促進を図ることで、コロナ禍前の水準を維持していくことをめざし、目標値を 13,619 千人に設定しました。

公共交通の利用者数 (人)					
	H30	R1	R2	R3	R4
名鉄瀬戸線	10,727,632	10,739,182	8,714,634	9,123,203	9,656,623
名鉄バス	1,498,841	1,498,464	1,084,820	1,147,276	1,417,165
名古屋支援バス	1,153,496	1,139,217	874,536	944,302	998,275
市営バスあさぴー号	236,096	241,878	193,534	202,454	217,943
計	13,616,065	13,618,741	10,867,524	11,417,235	12,290,006

#### 【概要】

- 本指標は、総合計画の施策「快適な交通基盤の整備」の成果指標に位置付けられています。
- 第3次都市計画マスターplanの「目標Ⅲ 移動」では、安全で円滑な交通基盤の整備をめざしており、道路が適切に維持管理されている必要があります。
- このため、本計画においても「幹線道路の年間補修延長」を指標として採用します。

#### 【目標値の考え方】

- 幹線道路の補修は、令和5年度までの5年間で、年平均 393m 実施されています。
- 総合計画では、今後の老朽化の進行に対応していくため、目標値を 600m に設定しました。

幹線道路の年間補修延長の推移 (m)							
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	5年間平均
年間道路補修延長	330	202	135	275	529	494	393

※ 基準値は、令和5年度までの5年間実績の平均値を参考に算出した値です。

※ 目標値は、総合計画の計画期間末の直近における実績値により評価します。

※ 基準値は、令和4年度末時点の実績値です。

※ 目標値は、総合計画の計画期間末の直近における実績値により評価します。

#### 目標IV 楽しさ

(1) 日々の暮らしに「楽しさ」を感じている市民の割合（上位計画との整合指標）

基準値	目標値
75.6%	85.0%

#### 目標IV 楽しさ

(2) 三郷駅前地区市街地再開発事業の進捗率

基準値	目標値
0%	100%

##### 【概要】

- 本指標は、総合計画の基本方針「暮らしやすさに楽しさを加えます」の成果指標に位置付けられています。
- 第3次都市計画マスターplanの「目標IV 楽しさ」では、公園や河川敷、駅周辺といったまちのオープンスペースにおいて、訪れる楽しさをつくることをめざしています。
- このため、本計画においても「日々の暮らしに「楽しさ」を感じている市民の割合」を指標として採用します。

##### 【目標値の考え方】

- 市民の18.7%が楽しさを「感じる」と答えており、「まあまあ感じている」を加えると75.6%となります。
- 総合計画では、様々な取組を進めることで、楽しさを感じる市民の割合の増加をめざし、目標値を基準値より約10ポイント高い85.0%に設定しました。

日々の暮らしの中で「楽しさ」を感じている市民の割合					
感じている	まあまあ感じている	あまり感じていない	感じていない	無回答	合計
304	926	318	39	40	1,627
18.7%	56.9%	19.5%	2.4%	2.5%	100.0%

75.6%

##### 【概要】

- 第3次都市計画マスターplanの「目標IV 楽しさ」では、にぎわいや交流を生み出す拠点の魅力を高めることをめざしています。
- 三郷駅前地区市街地再開発事業は、当該目標の達成に向けて実施される本市の代表的な取組であることから、「事業の進捗率」を成果指標として採用します。

##### 【目標値の考え方】

- 三郷駅前地区市街地再開発事業は、令和5年度に事業計画が認可され、事業の開始に向けて準備が進められています。
- 本計画期間末には事業が完了していることをめざし、目標値を100%に設定します。

※ 基準値は、令和6年度末時点の実績値です。

※ 目標値は、第3次本都市計画マスターplanの計画期間末の直近における実績値により評価します。

※ 基準値は、令和5年度まちづくりアンケートの結果です。

※ 目標値は、総合計画の計画期間末の直近に実施されるまちづくりアンケート結果により評価します。

## 目標V まち育て

### (1) 地域社会や人とのつながりがあると思う市民の割合 (上位計画との整合指標)

基準値	目標値
48.5%	60.0%

## 目標V まち育て

### (2) 活動発表会及び交流会への参加団体数 (上位計画との整合指標)

基準値	目標値
24 団体	30 団体

#### 【概要】

- 本指標は、総合計画の基本方針「人とのつながりを大切にします」の成果指標に位置付けられています。
- 本計画の「目標V まち育て」では、「みんなでまちを育てる」ことをめざしており、地域社会や人とのつながりが不可欠です。
- このため、本計画においても「地域社会や人とのつながりがあると思う市民の割合」を指標として採用します。

#### 【目標値の考え方】

- 市民の 10.8% が「つながりがある」と答えており、「まあまあつながりがある」を加えると 48.5% となります。
- 総合計画では、様々な取組を進めることで、人とのつながりの希薄化に抗い、つながりを強化していくことをめざし、目標値を基準値より約 11 ポイント高い 60.0% に設定しました。

地域社会や人とのつながりがあると思う市民の割合

つながりがあ る	まあまあつな がりがある	あまりつなが りがない	つながりがな い	無回答	合計
176	614	666	145	26	1,627
10.8%	37.7%	40.9%	8.9%	1.6%	100.0%

48.5%

※ 基準値は、令和5年度まちづくりアンケートの結果です。

※ 目標値は、総合計画の計画期間末の直近に実施されるまちづくりアンケート結果により評価します。

#### 【概要】

- 本指標は、総合計画の施策「市民によるまちづくり活動の支援」の成果指標に位置付けられています。
- 第3次都市計画マスターplanの「目標V まち育て」では、まちづくりの新たな担い手の発掘につながる、市民・団体・民間といった多様な主体同士の交流を図ることをめざしています。
- このため、本計画においても「活動発表会及び交流会への参加団体数」を指標として採用します。

#### 【目標値の考え方】

- 活動会及び交流会への参加団体は、コロナ禍による開催ができない期間を経て、回復傾向にあります。
- 総合計画では、既存団体の高齢化による活動の縮小や団体数の減少に抗い、交流機会の創出による既存団体の活性化や新たな担い手の創出をめざし、目標値を基準値より 6 団体多い 30 団体に設定しました。

活動発表会及び交流会への参加団体数 (団体)

	R2	R3	R4
参加団体数	-	-	24

※ 基準値は、令和4年度末時点の実績値です。

※ 目標値は、総合計画の計画期間末の直近における実績値により評価します。